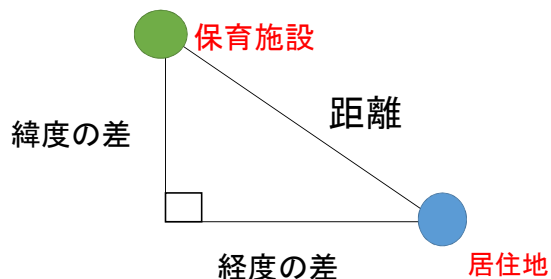


乳幼児の居住地と最寄りの病児保育施設との距離における地方間格差

広島国際大学 江原朗

日本小児科学会COI開示 発表者名: 江原 朗
日本小児科学会の定める利益相反に関する開示事項はありません

距離の測定



【背景】

- 軽症であっても、発熱のある子どもの登園を一般の保育所は認めていない。
- 一方、乳幼児は感染症等に罹患しやすいため、軽症な病児に対する保育も必要となる。
- 昨年、行政の補助(子ども・子育て支援交付金)を受けた病児対応型保育施設の10km圏内に全国の0~4歳児の82.1%が居住しているが、10km圏内居住者の比率には地方間格差があることを明らかにした。
- 今回の研究では、こうした補助を受給した保育施設に限定せず、病児保育を提供する全国の保育施設から一定の距離圏内に居住する乳幼児の比率について地方間の比較を行うことにした。

【結果1】

- 全国の0~4歳児のうち、病児保育施設から**3km圏内に42.9%**、**5km圏内に60.8%**、**10km圏内に78.1%**が居住。
- 10km圏内に居住する比率が**北海道では39.6%**、**東北では42.4%**と低かった。

【方法】

- 全国病児保育施設協議会に加盟している病児保育施設の所在地を地理情報システム(GIS)により緯度・経度に変換した。
- 全国の各小地域(ほぼ町丁目に相当し、全国に21万強の地域がある)との直線距離を三平方の定理によって計算した。
- 0~4歳児のうち、病児保育施設から3km、5km、10km圏内の小地域に居住する者の比率を算出して地方間で比較した。

【結果2】

- **3万~5万人未満、5万~10万人未満**の市区町村間で設置率に統計学的な有意差を認めた。
- 2地方間で比較すると、**北海道と関東、北海道と九州沖縄の各区の間**において統計学的な有意差を認めた。

3、5、10km圏内に居住する乳幼児比率

	4歳以下人口	3キロ未満	5キロ未満	10キロ未満
北海道	185,874	13.7%	24.4%	39.6%
東北	313,588	14.3%	25.4%	42.4%
関東	1,668,003	56.0%	75.4%	87.9%
中部	934,533	24.7%	42.0%	68.5%
近畿	807,000	53.9%	73.0%	88.7%
中国	299,311	38.6%	58.7%	81.2%
四国	140,750	43.4%	63.5%	80.6%
九州沖縄	634,773	45.9%	63.6%	80.1%
総計	4,983,832	42.9%	60.8%	78.1%

4歳以下の人口は平成27年国勢調査各小地域の4歳以下人口の合算値である。

【結論】

- 全国の0～4歳児のうち、全国病児保育施設協議会に加盟している病児保育施設から3km圏内に42.9%、5km圏内に60.8%、10km圏内に78.1%が居住していた。
- しかし、地方間で差異が見られ、北海道および東北ではその比率が低かった。
- 全国であまねく利用できるようにするためには、こうした地方で病児保育施設を増やす必要があり、そのためには行政の支援が不可欠である。

地方別・市区町村の人口規模別の病児保育施設の設置率

地方	1万人未満	1万～3万人未満	3万～5万人未満	5万～10万人未満	10万～20万人未満	20万～30万人未満	30万人以上	政令指定都市の各区
北海道	1/122	1/35	4/7	0/6	2/6	1/1	0/1	1/10
東北	2/86	1/70	5/28	5/26	4/8	3/5	1/3	1/5
関東	0/38	3/58	5/44	14/64	26/54	10/15	11/15	48/67
中部	0/86	10/87	11/55	19/68	12/30	5/5	6/10	14/34
近畿	0/42	1/43	4/27	17/43	12/22	4/6	10/11	26/51
中国	0/25	2/34	2/19	6/10	10/12	3/3	2/2	9/12
四国	0/34	4/29	7/16	4/8	3/4	1/1	3/3	-
九州沖縄	1/16	4/34	7/23	8/16	3/6	1/2	2/2	15/19
全国	4/449	26/390	45/219	73/241	72/142	28/38	35/47	114/198
北海道	0.8%	2.9%	57.1%	0.0%	33.3%	100.0%	0.0%	10.0%
東北	2.3%	1.4%	17.9%	19.2%	50.0%	60.0%	33.3%	20.0%
関東	0.0%	5.2%	11.4%	21.9%	48.1%	66.7%	73.3%	71.6%
中部	0.0%	11.5%	20.0%	27.9%	40.0%	100.0%	60.0%	41.2%
近畿	0.0%	2.3%	14.8%	39.5%	54.5%	66.7%	90.9%	51.0%
中国	0.0%	5.9%	10.5%	60.0%	83.3%	100.0%	100.0%	75.0%
四国	0.0%	13.8%	43.8%	50.0%	75.0%	100.0%	100.0%	-
九州沖縄	6.3%	11.8%	30.4%	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	78.0%
全国	0.9%	6.7%	20.5%	30.3%	50.7%	73.7%	74.5%	57.6%
P	NS	NS	0.0208	0.0198	NS	NS	NS	0.00013

Yates補正のχ²乗検定でP<0.05の際に有意差あり。2地方間の比較ではボンフェローニ補正。矢印：有意差あり。

【考察】

- 病児保育施設から一定距離圏内に居住する乳幼児の比率が北海道や東北で低い理由の1つとして、人口密度の高い都市部で病児保育施設が少ないことが考えられる。